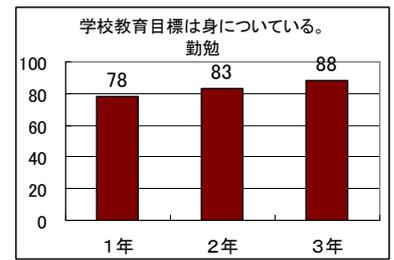
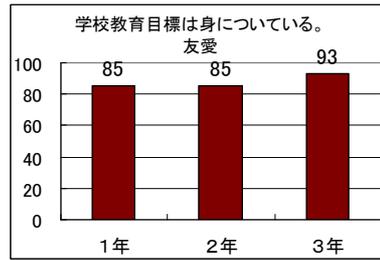
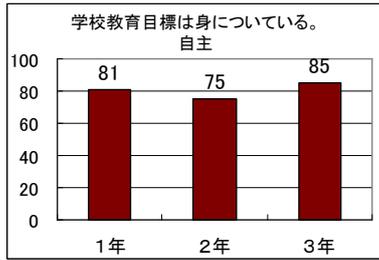


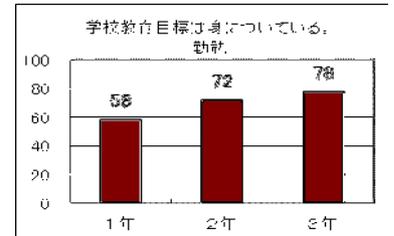
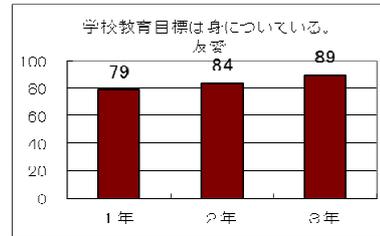
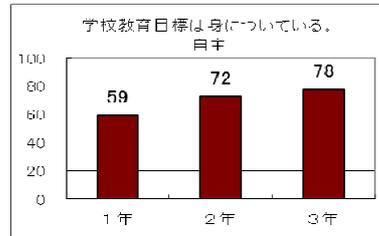
平成27年度 学校教育活動評価生徒アンケート結果

学校教育目標

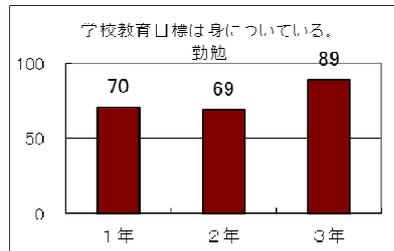
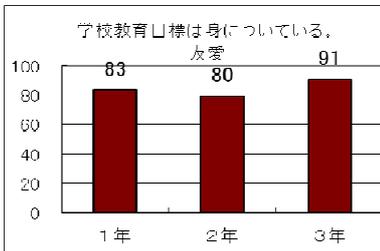
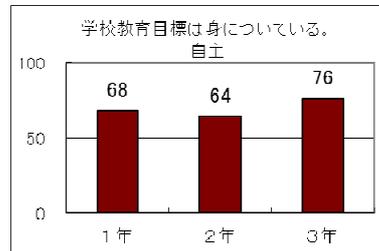
25
年度



26
年度



27
年度

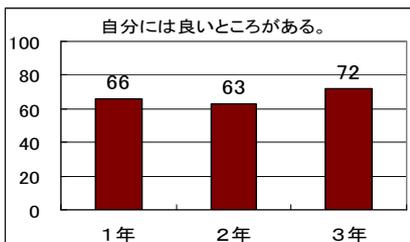
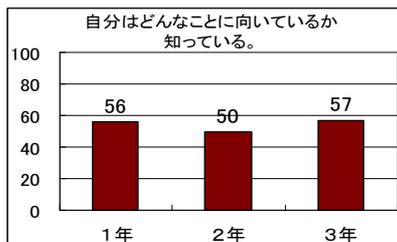


・全体的に学年が進むにつれて学校教育目標を意識しだし、理解してきているがさらなる高みを目指して行動に移せるように指導していく。

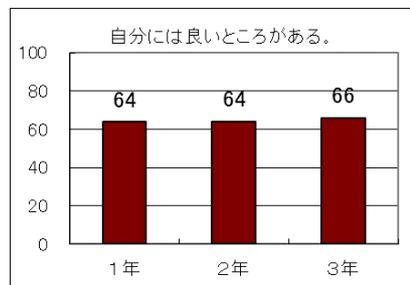
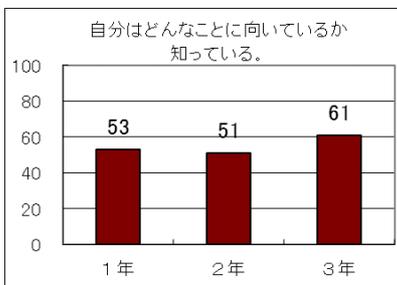
自尊感情

〈自己肯定感・達成感〉

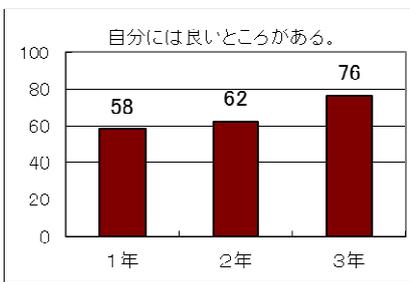
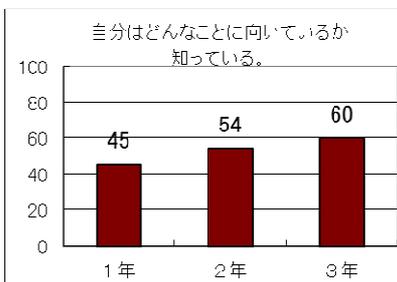
25
年度



26
年度

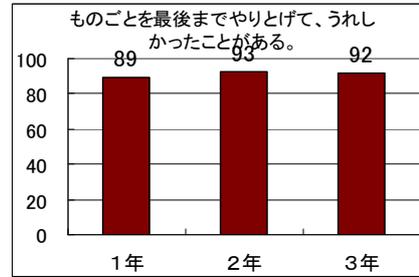
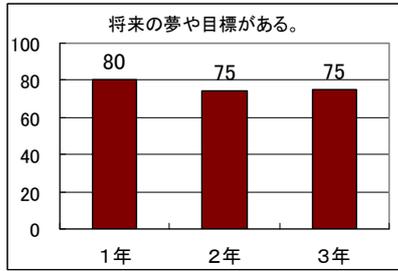


27
年度

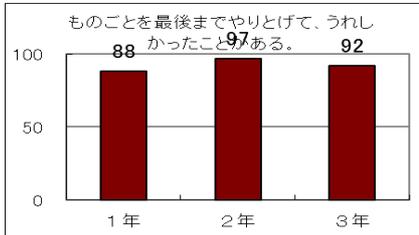
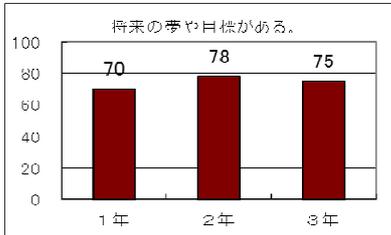


・自分がどんな事に向いているかということについては3年生でも6割程度で全体的に低い傾向である。中学生では自分の能力を見極めることも決定することも難しいと思われる。1年次に自分探し・職業調べを行い、2年次に職業体験を行なう。キャリア教育を充実させ自分自身をしっかり見つめ、自己啓発をもっと推し進め、自己を見つめる機会をたくさん増やしていきたい。

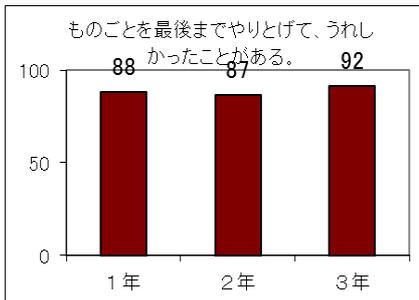
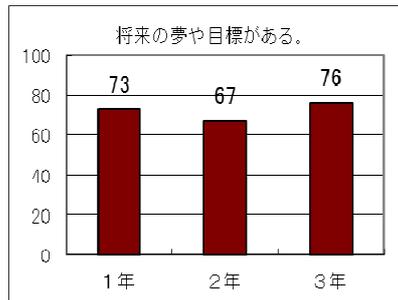
25
年度



26
年度



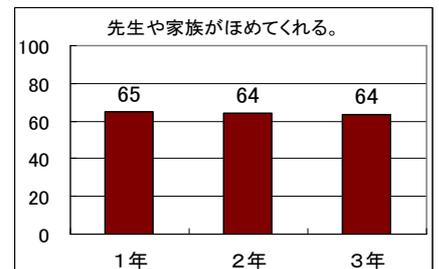
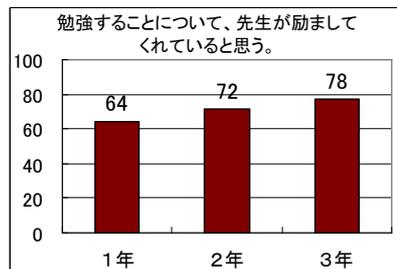
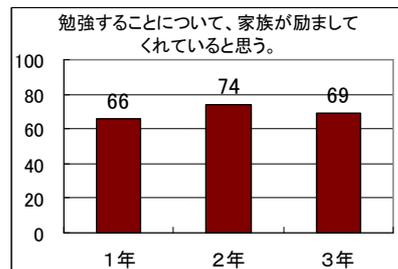
27
年度



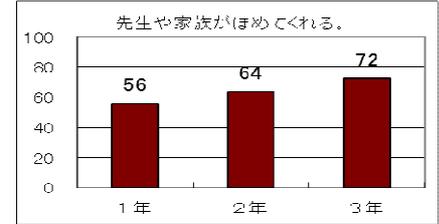
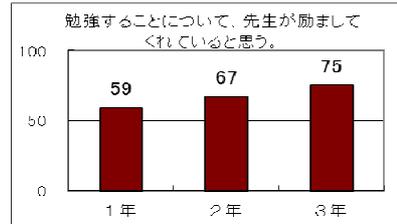
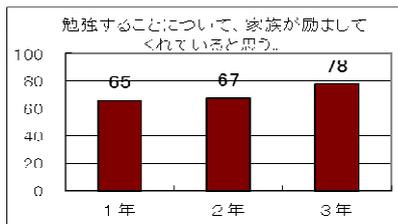
・ 将来の夢や目標があるかどうかは1年生でも高い数値を示し、すべての学年でもそんなに差はない。

・ 成功体験を多くの生徒が経験しており、うれしいことである。これが更に上昇志向を生み、良いサイクルができる。

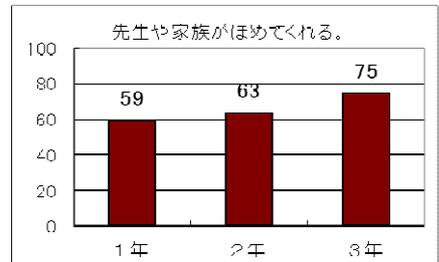
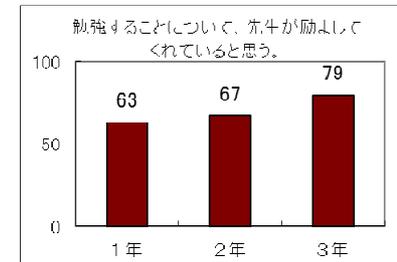
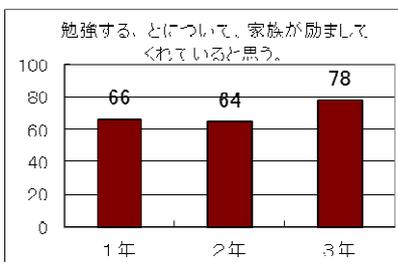
25
年度



26
年度



27
年度

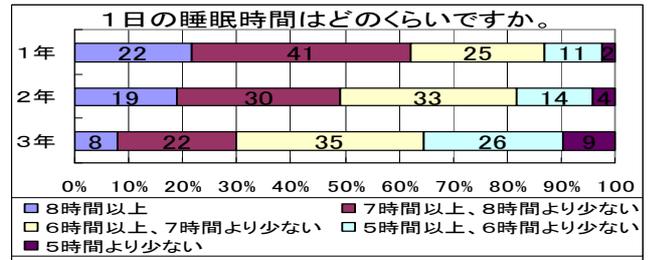
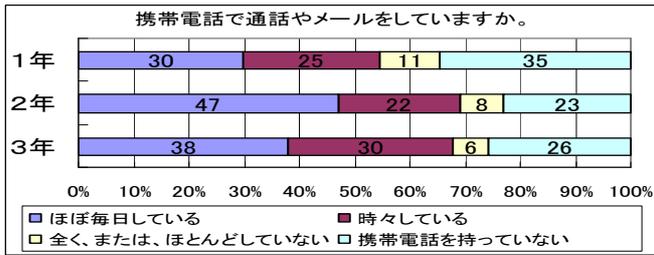


・ 勉強することに家族や先生は、学年が進むにつれて励ましてくれていると感じている。

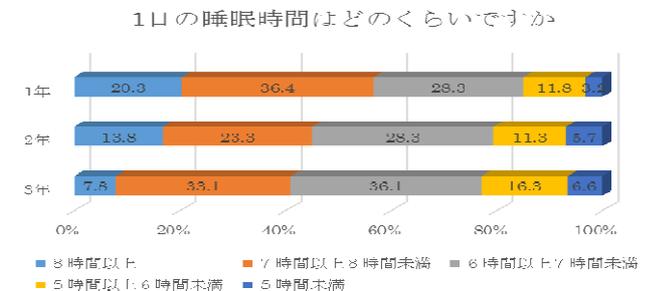
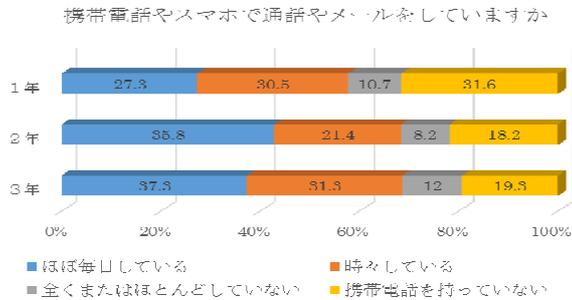
・ 勉強以外にも学年が進むにつれてほめてくれていると感じている。

生活〈家庭生活〉

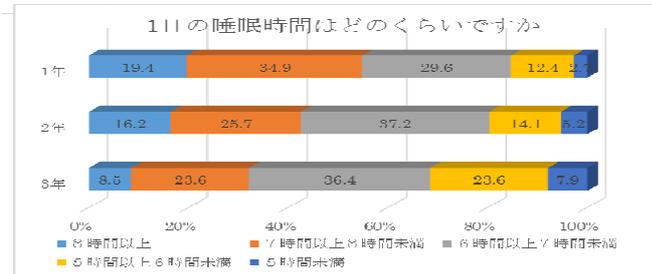
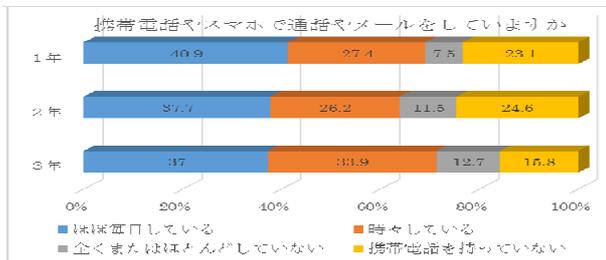
25
年度



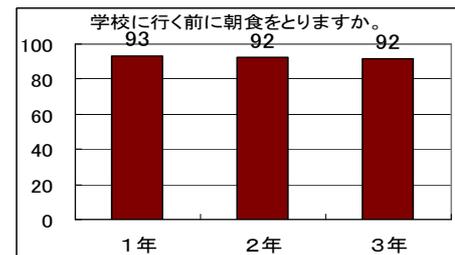
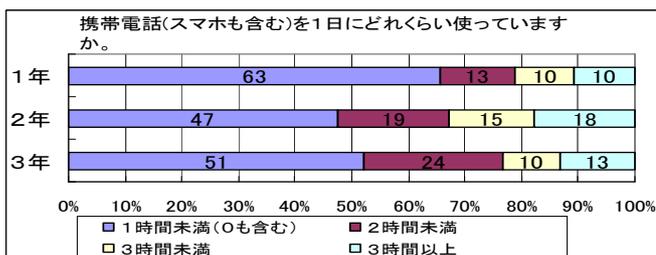
26
年度



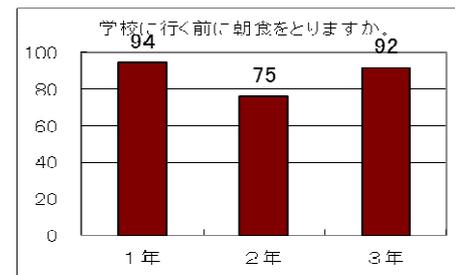
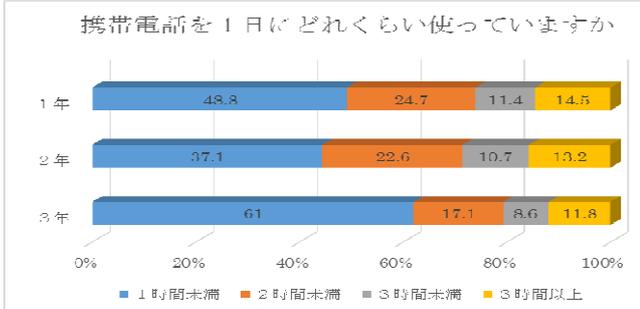
27
年度



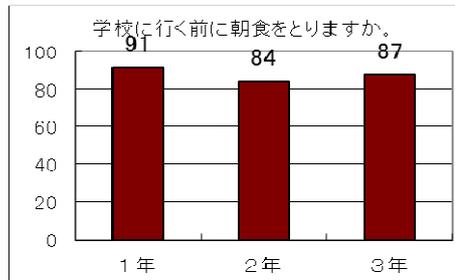
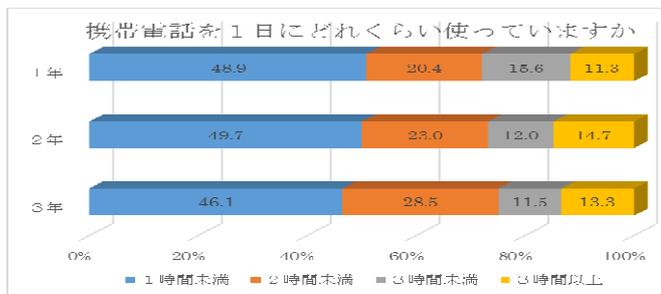
25
年度



26
年度

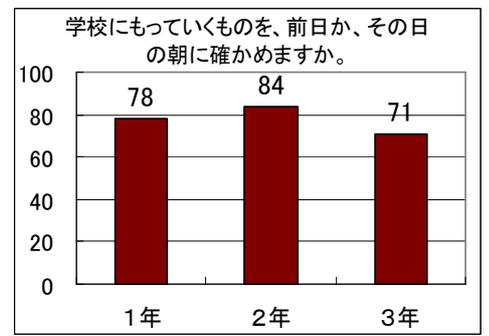
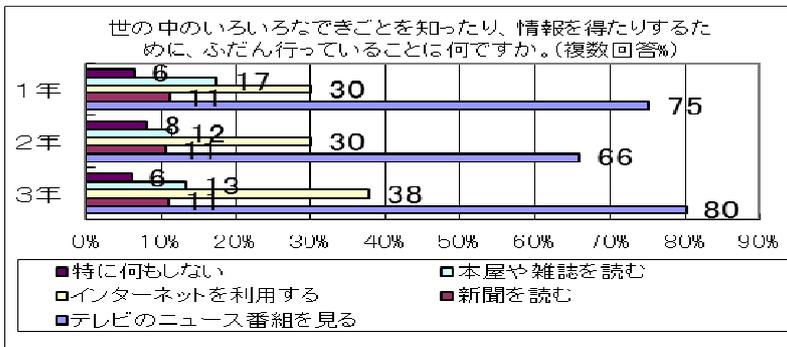


27
年度

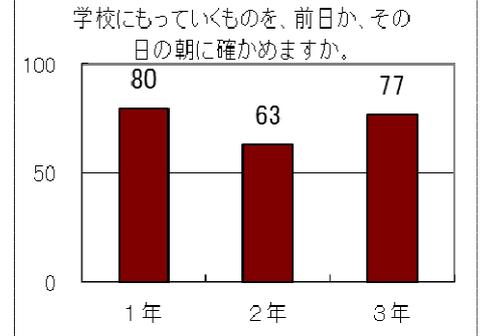
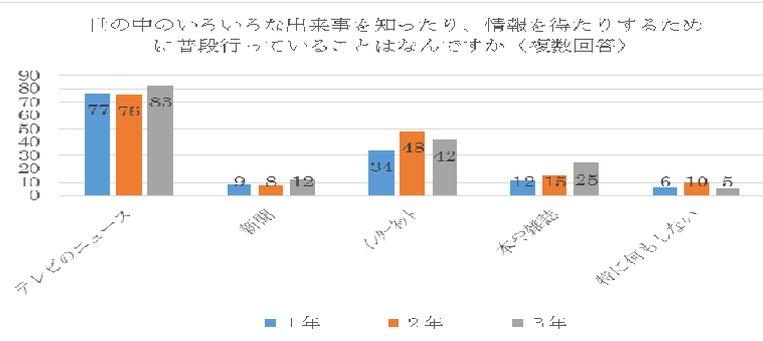


- ・朝食を摂っている生徒は毎年9割前後いるので良い傾向であるが、より増えるように働きかけていきたい。
- ・携帯電話の所持率が年々増えているのは時代の流れからも仕方がないのであろう。しかし、その使用方法について、約束事を親子でかわすなど正しい使い方を身に付けるよう学校でも指導をしっかりと行なうが、家庭でも確実に指導するよう働きかけていきたい。ここ数年、携帯電話での様々なトラブルが目立つ。

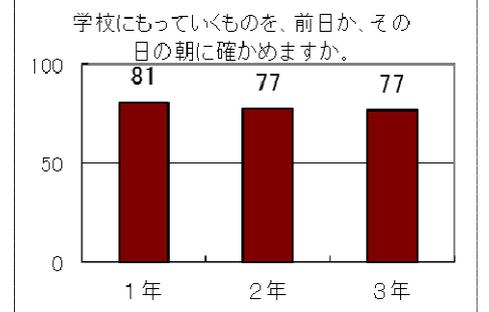
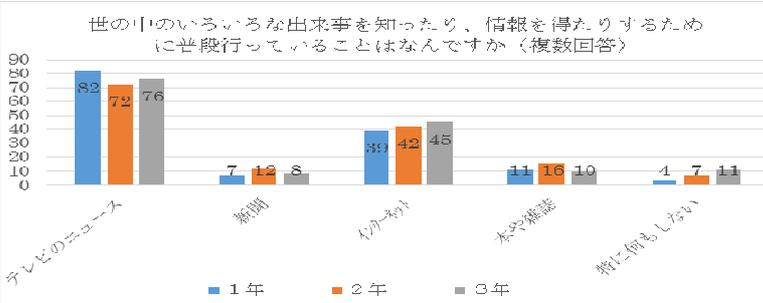
25年度



26年度

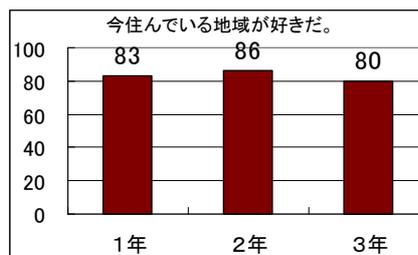
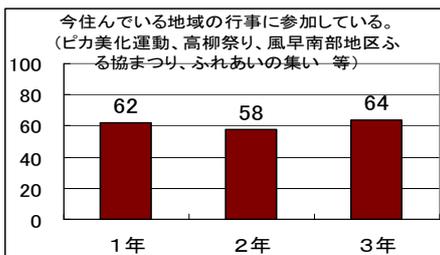


27年度

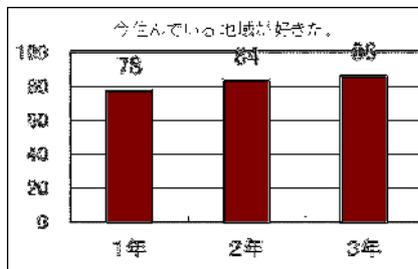
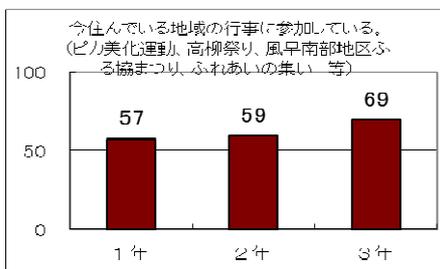


・各学年とも世の中の情報を得るためにはテレビからが一番多い。インターネットからという生徒はそんなに増えていないように思えるが、ニュース等の情報以外はネットから得ているように思われる。

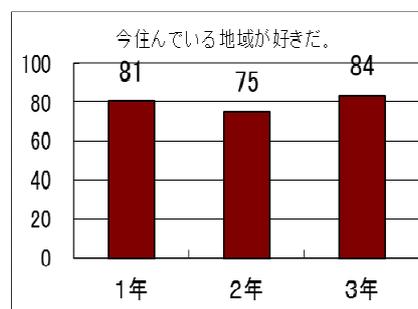
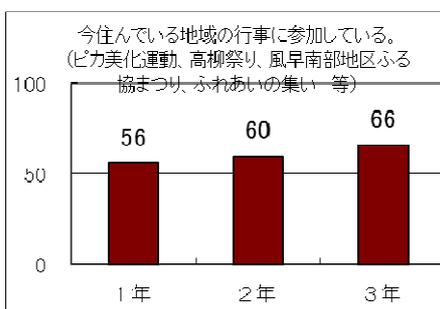
25年度



26年度



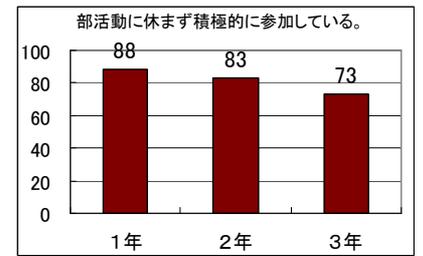
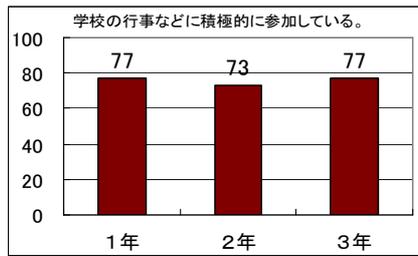
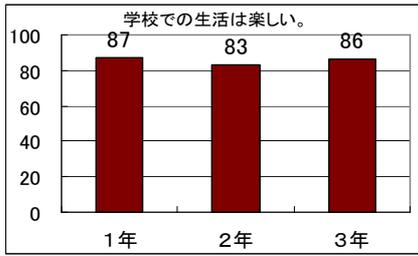
27年度



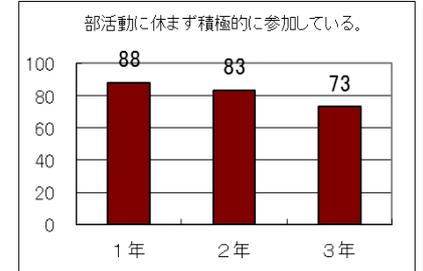
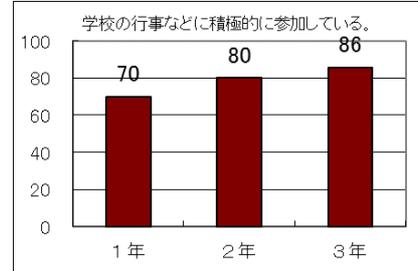
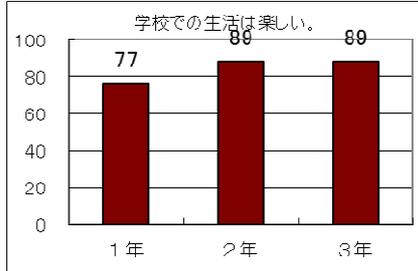
・地域に対して愛着心を持っている生徒がどんどん多くなってきており、好ましいことである。
 ・地域の行事に参加する生徒の割合をもっと増やすように働きかけていきたい。生徒が地域のどんな行事に参加しているかという自覚を持たせる工夫と、更に参加状況を良くするために積極的なアプローチを行なっていきたい。

〈学校生活〉

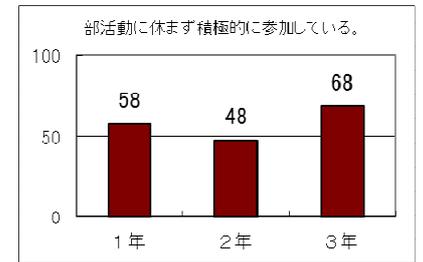
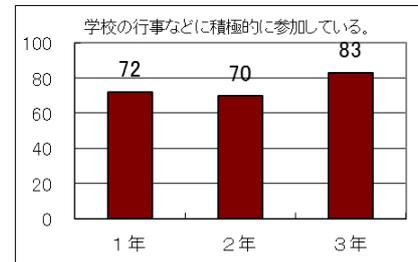
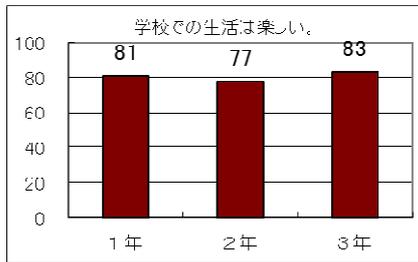
25
年度



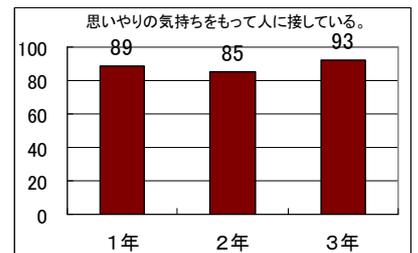
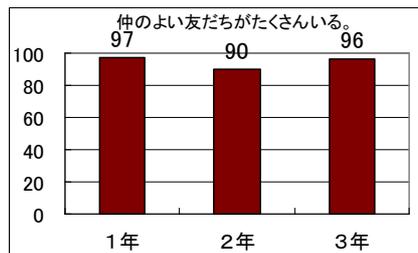
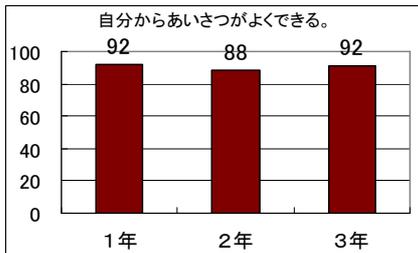
26
年度



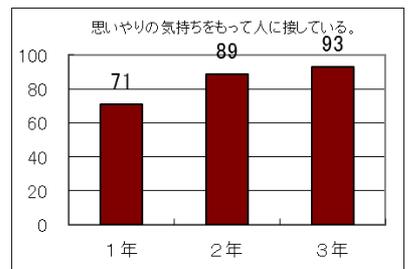
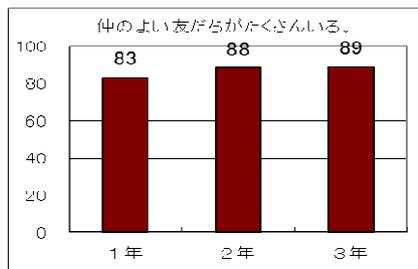
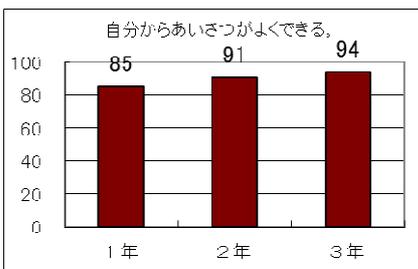
27
年度



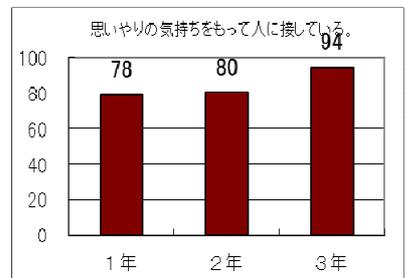
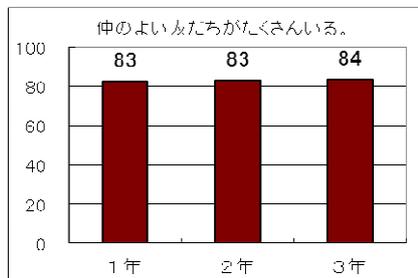
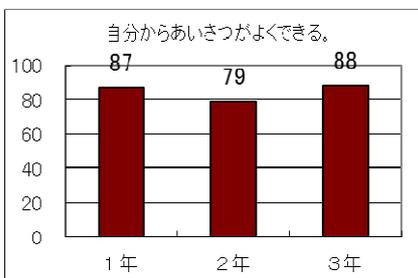
25
年度



26
年度

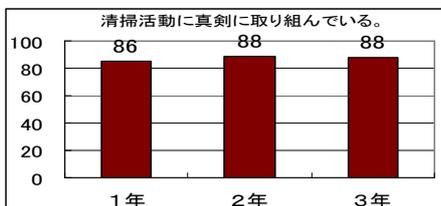
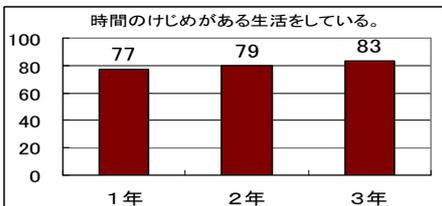


27
年度

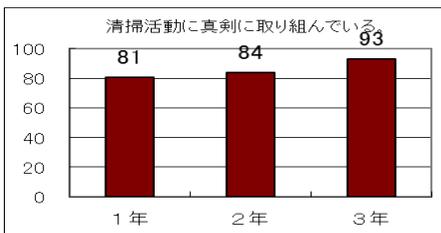
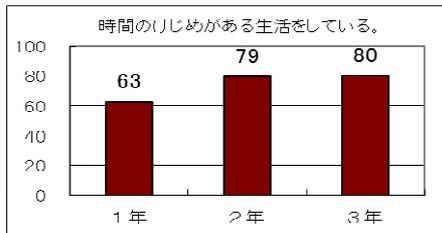


- ・挨拶は伸び悩んでおり、低迷期である。三本柱の一つとして気持ちの良い挨拶が飛び交うような学校にしていくための手立てをしっかりと立て、継続指導していく。
- ・友達がたくさんいると答えている生徒も9割近く、思いやりの気持ちを持って人に接しているという生徒の割合も年々増加している。さらに様々な場面や人たちに積極的に働きかけができるよう、道徳やピアサポートなどの授業や日常の指導にしっかり取り組んでいきたい。
- ・部活動に関しては急激な落ち込みの様であるが、「時々休む」を除いた数であり、それを加えると前年並みにはなる。

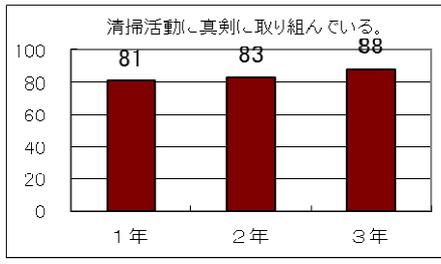
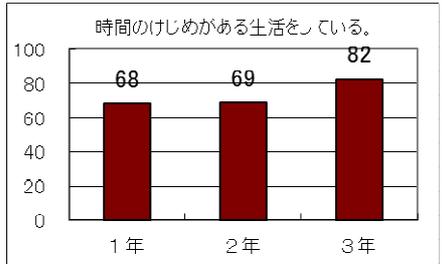
25年度



26年度



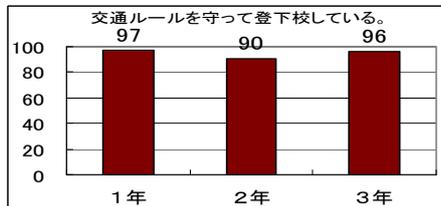
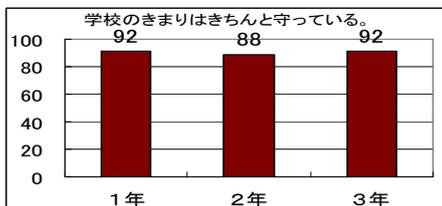
27年度



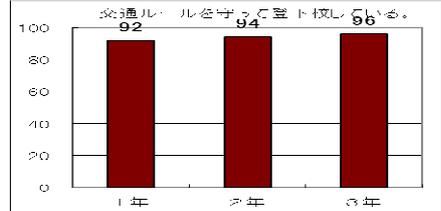
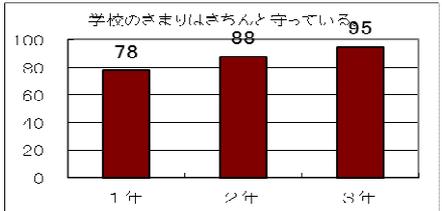
・本校はノーチャイムであるが、それ故、時間にけじめをつけられないと学校生活が乱れていく。生徒の時間に対する意識が向上していることは実に好ましいが、1, 2年生の意識が低いことが気にかかる。

・清掃活動も8割の生徒が真剣に取り組んでいると答えているが、さらなる向上のために清掃の方法についてより具体的に指導し、教員も生徒とともに活動し、より効率の良い自主的な清掃を目指したい。

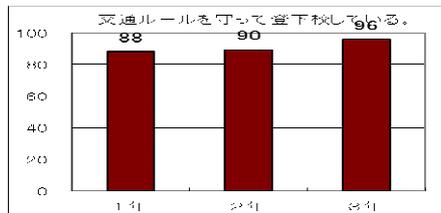
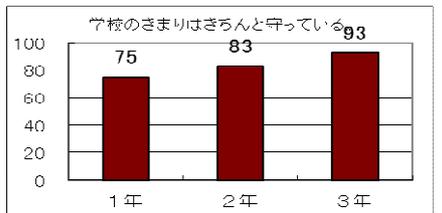
25年度



26年度



27年度

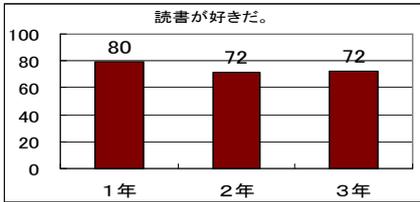
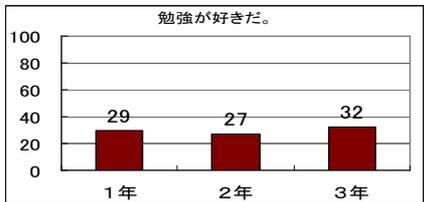


・決まりを守っていると答えている生徒が、学年が進むごとに増えているので、生徒指導を始めその効果ができているといえよう。

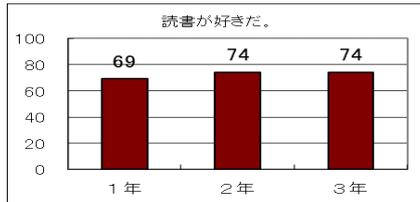
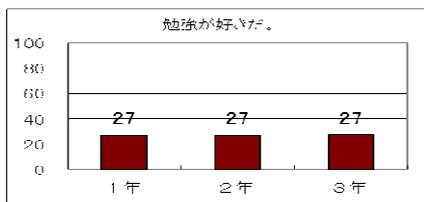
・交通ルールを守っていると答える生徒も増加している。実際の動きでできているかの確認も含め、交通ルールをどれだけ理解しているか、更に指導していきたい。

学習 <学習意欲>

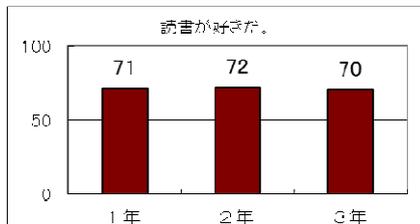
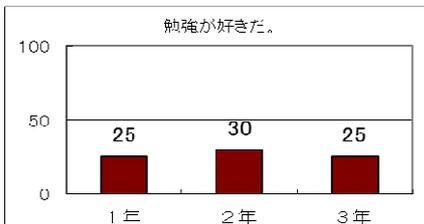
25年度



26年度



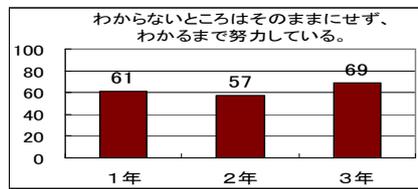
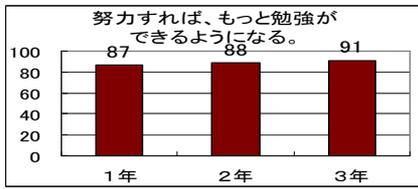
27年度



・やはり、勉強が好きだと答えている生徒が非常に少ない。さらなる学習に対する興味関心を高めるためにも授業方法の工夫が必要である。

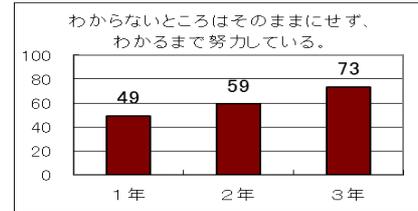
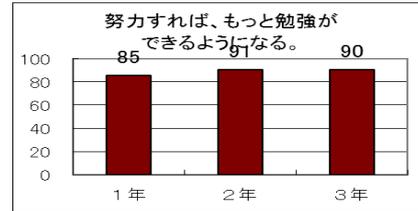
・読書が好きだと答える生徒がここ数年大きな変化はないがメディアセンターのより一層の充実や活用を図り、読書への取り組みも工夫し、もっと読書に対する興味関心を高めたい。

25
年度

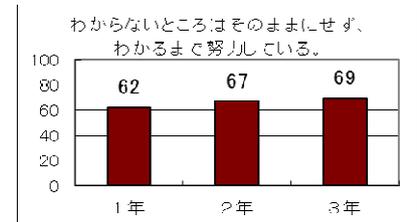
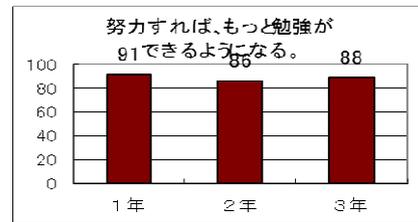


・努力すればもっと勉強ができるようになると思う生徒が、毎年9割近くいるが、わからないところをわかるまで努力している生徒の割合が、例年少ない。やればできるけどやらない。やる気になればできるという楽観的な考え方も見え隠れしている。生徒のやる気を促すように教師側からの働きかけを積極的に行なうことが必要とも思われる。

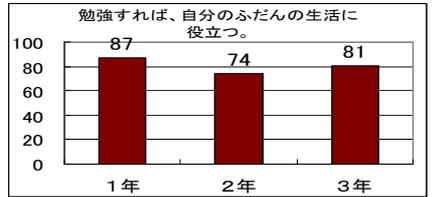
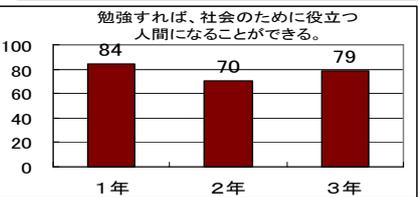
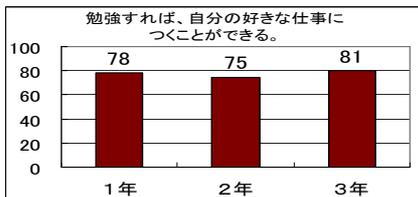
26
年度



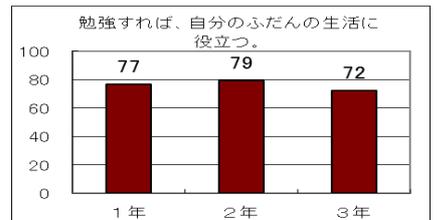
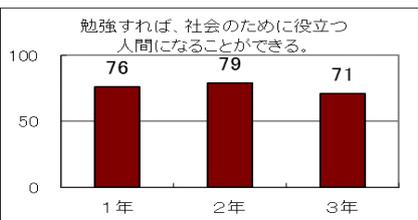
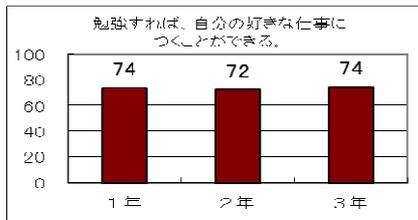
27
年度



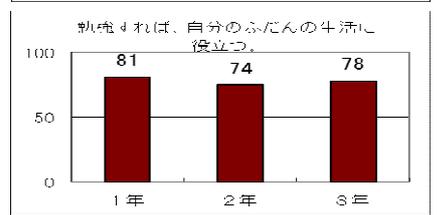
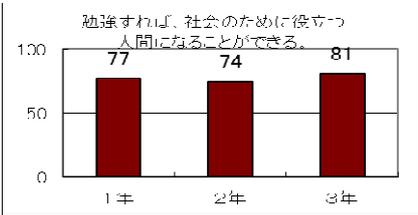
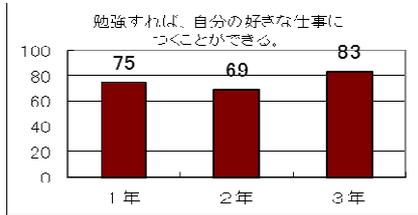
25
年度



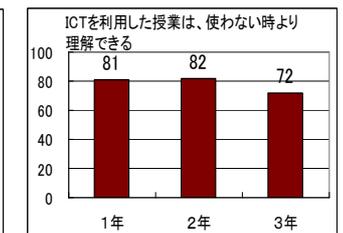
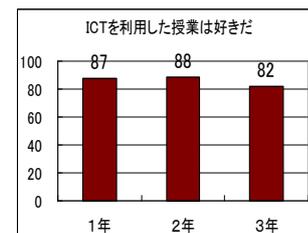
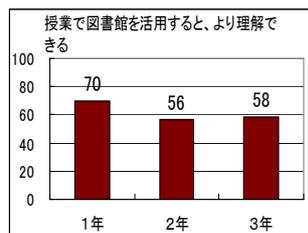
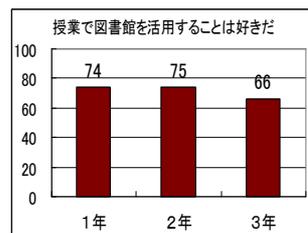
26
年度



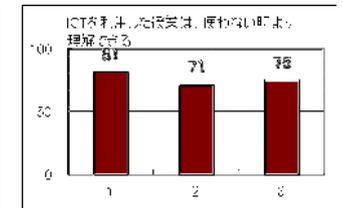
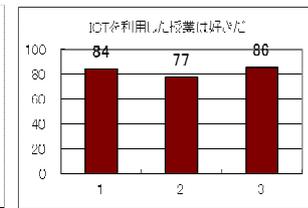
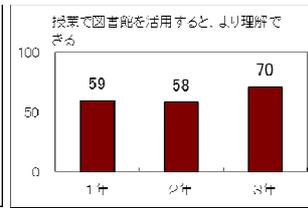
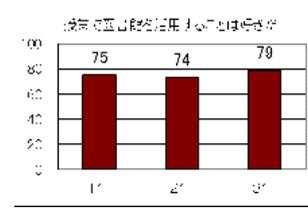
27
年度



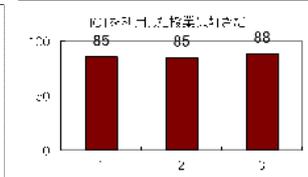
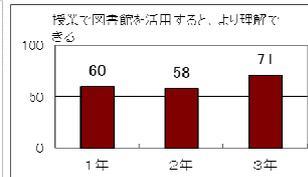
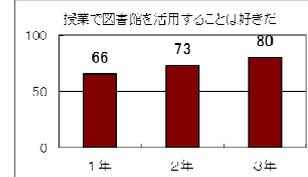
25
年度



26
年度



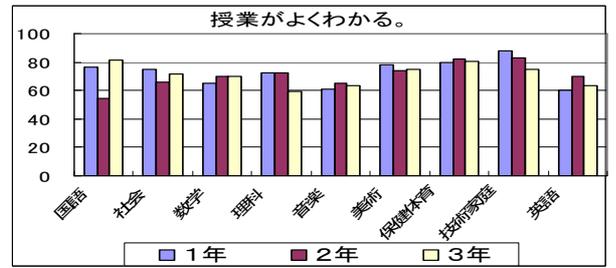
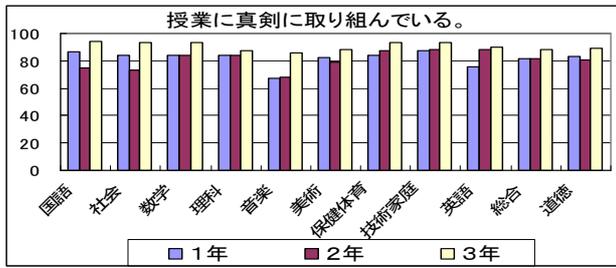
27
年度



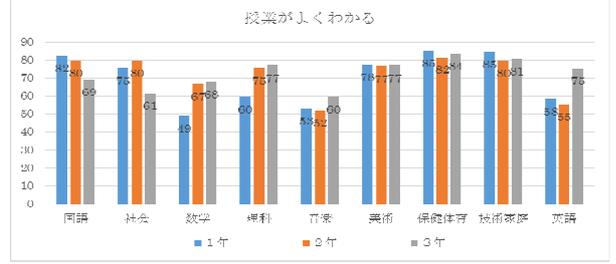
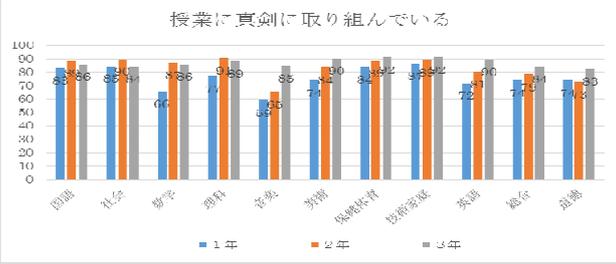
・授業で図書館やICTを利用することは、全体的に好きである傾向が見られる。理解度については、図書館が6～7割、ICT活用した授業は8割前後の生徒が理解できると答えているので、これからも活用の場を増やすようにしていきたい。特に、動画や実物など直感的に感じ取れるような場面で利用し、より効果が上がるように工夫していきたい。

〈授業への取り組み・理解〉

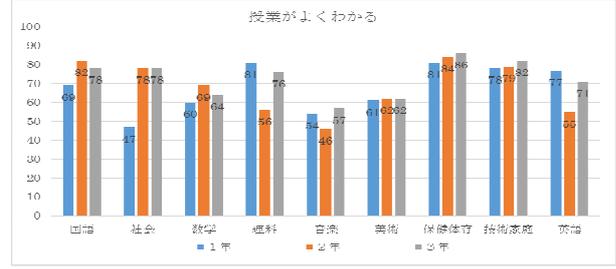
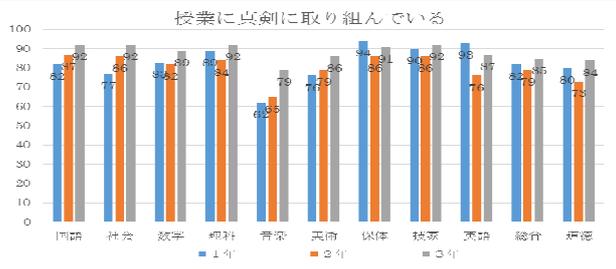
25
年度



26
年度

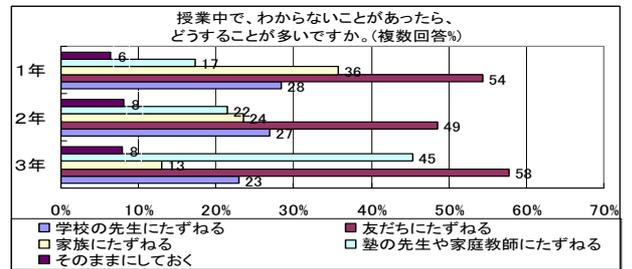
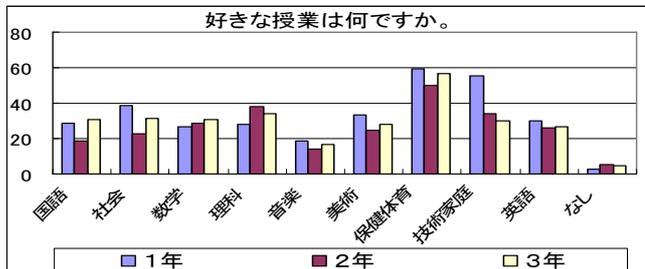


27
年度

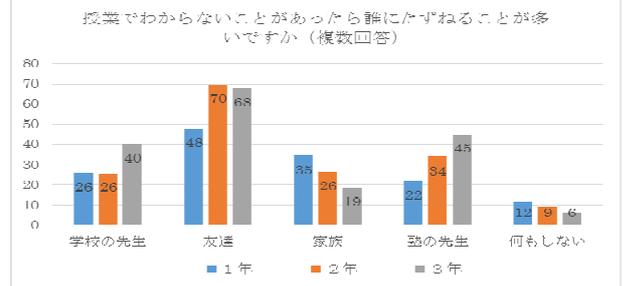
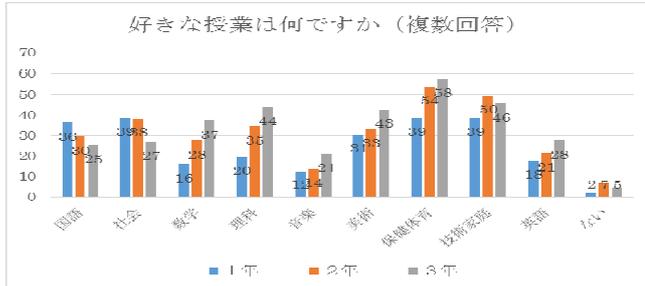


- ・全体的に授業に真剣に取り組んでいるという生徒は、学年が進むごとに増えてきている。
- ・教科によって、真剣に取り組んでいる、授業がよくわかる生徒の割合に差があるが、これを各教科担当は真摯に受け止め、これからの授業方法の練磨を行っていきたい。

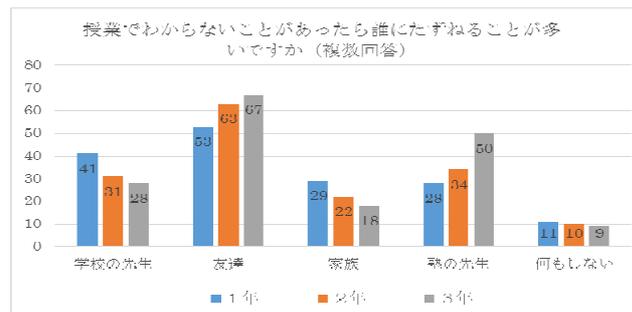
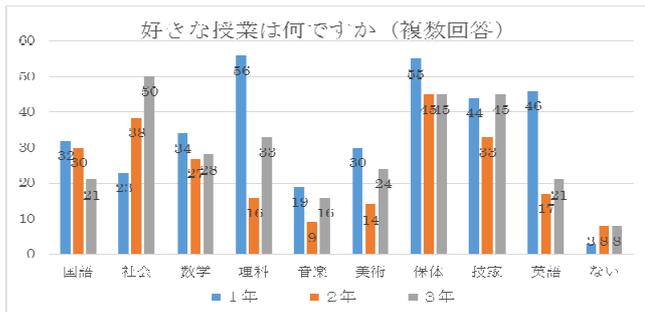
25
年度



26
年度



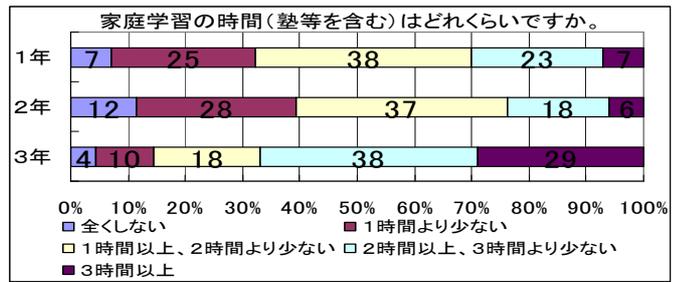
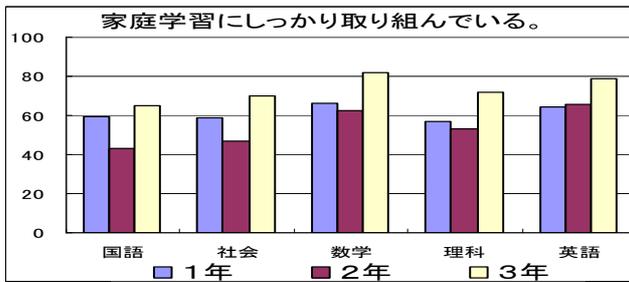
27
年度



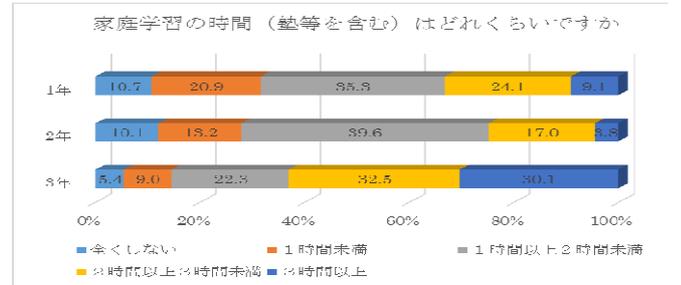
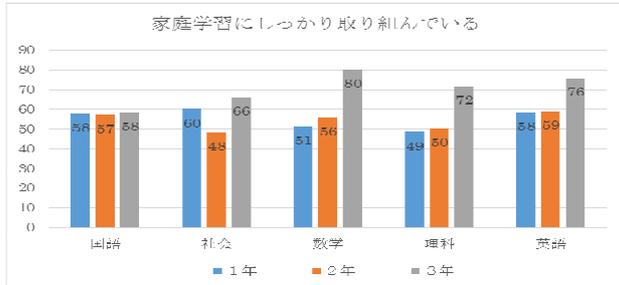
- ・好きな授業は各学年とも技術家庭科や保健体育の授業が多く、他の教科は学年によって差異がある。この差がなくなるように真摯に取り組む必要がある。
- ・授業中でわからないことは身近にいて聞きやすい友達に聞くという生徒が例年多い。

〈家庭学習への取り組み〉

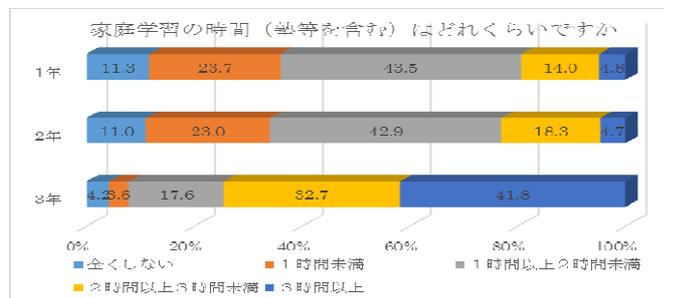
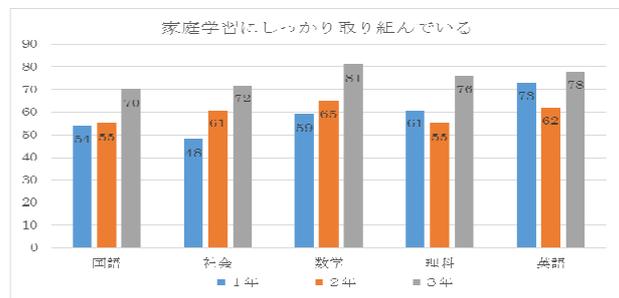
25年度



26年度

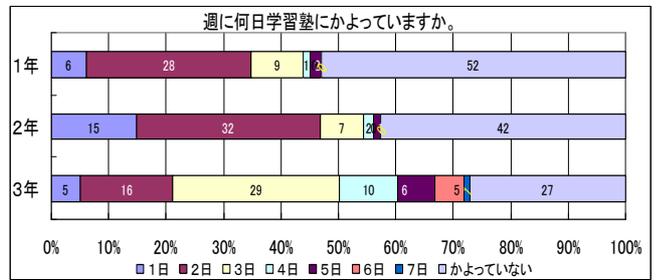
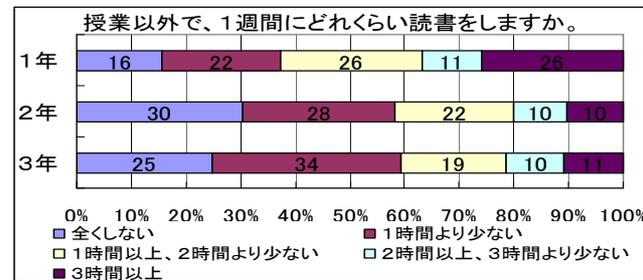


27年度

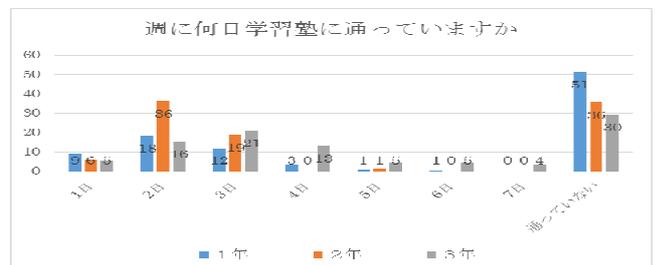
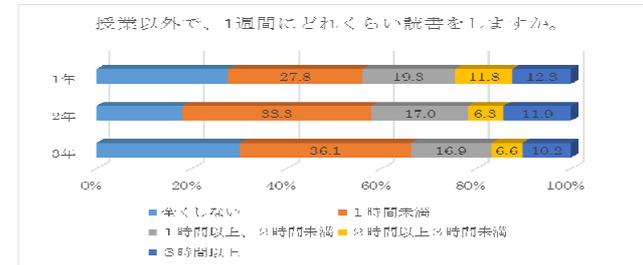


- ・3年生になると自覚が出て各教科ともまんべんなく家庭学習に取り組む生徒が増加する。
- ・家庭学習時間も学年が進むにつれて全くしない生徒は減るが、1,2年生の1時間未満の生徒が3割強いるのでさらに、家庭と連携して家庭学習の定着を図りたい。

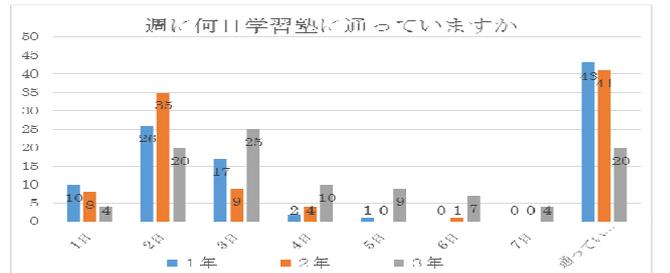
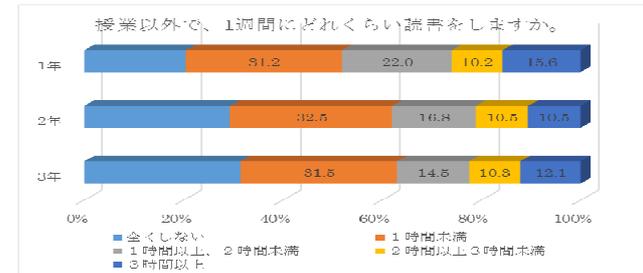
25年度



26年度



27年度



- ・授業以外で読書をする生徒が増えている。毎日の朝読書の良い影響が出ていると考えられる。
- ・学習塾には各学年とも2~3日通っている生徒が増加傾向にある。